アスリート部門のガイドライン

大会事務局

初級、１級、２級

a)ジャンプ要素　最大３

1 回はコンビネーション又はジャンプシークエンス(２つまたは３つのジャンプからなるもの)を含んでよい。

同じ種類のジャンプの繰り返しに制限無し。

b)スピン要素　　最大２

１つはコレオ・スピン。

詳細は下記の「**注４：コレオ・スピンについて**」を参照すること。

１つはコレオ・スピン以外のスピン（レベル B)。

c)コレオシークエンス

スパイラル/イーグル等のフリースケーティング動作を２つ含むこと。

３級以上

a)ジャンプ要素　最大３

1 回はコンビネーション又はジャンプシークエンス(２つまたは３つのジャンプからなるもの)を含んでよい。

同じ種類のジャンプの繰り返しに制限無し。

b)スピン要素　　最大２

１つはコレオ・スピン。

詳細は下記の「**注４：コレオ・スピンについて**」を参照すること。

１つはコレオ・スピン以外のスピン（レベル判定する)。

レベル認定は ISU ハンドブックに従う。

c)コレオシークエンス

スパイラル/イーグル等のフリースケーティング動作を２つ含むこと。

その他規定について

注 1: PCS ファクター 初級：1.2、１級：1.5、２級：1.8、３級以上：2.0
注 2: 同順位の場合はコンポーネンツスコアの順位が高い者を上位とする。
注 3: アスリート部門参加者は、別紙「予定要素表」の提出をお願い致します。
注 4: コレオ・スピンについて

- コレオ・スピン（コレオグラフィック・スピン）とは、プログラムの振付を引き立たせ、音楽と合っているスピンである。
- コレオグラフィック・スピンは、いかなる基本姿勢または非基本姿勢も許され、1本または 2 本のブレードで、最少で連続した 3 回転が必要である。足換えは自由であり、スピン中に何度も行うことができる。

注 5: スピンに関しての明確化

- すべてのスピンはフライング、足換えは任意。
- 初級、１級、２級クラスのレベルはすべてＢ（ベーシック）で判定する。
- ３級クラスはレベル判定する。
- コレオ・スピン以外の全てのスピンは 5 回転以上を基本とし、３回転しなければノーバリュー。
- コレオ・スピンが特定できない場合、2 つ目に実施したスピンをコレオ・スピンとみなす。

以　上